

すみだ五彩の芸術祭 連携企画

すみだまつり

講師
桂文太



講演テーマ

落語家「桂文太」中途失明を乗り越えて笑いを届けています
～落語の世界は男女平等だぞ！～

 日時 令和8年9月26日(土)
12:45～16:00(開場12:10)

 場所 すみだ共生社会推進センター
(墨田区押上2-12-7-111)

 定員 165名(先着順)

 参加費 **無料**

 手話 お席を御用意しますので、申込時
にお伝えください。

 保育 満1歳から就業前のお子さまをお
預かりします。(事前申込、定員制)

 お申し込みについて

＜申込フォーム＞

二次元コードから必要事項を
入力してお申し込みください。



＜電話＞

すみだ共生社会推進センター

TEL 03-5608-1771

平日：9:00～21:00

土日祝：9:00～17:00



すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL



すみなか

すみだ共生社会推進センター

主催 すみなかまつり実行委員会
すみだ共生社会推進センター
お問合せ先 TEL 03-5608-1771

落語家 桂文太 -プロフィール-

1952年7月10日生まれ。京都市立紫野高等学校卒業後、1971年3月3日に三代目桂小文枝（後の五代目、桂文枝）に、三枝（六代目、文枝）、きん枝、文珍の“桂3兄弟”に次ぎ、弟子入り。上方落語に留まらず、江戸落語や芝居噺をアレンジした「贋作」など、珍しい噺も手がける。大阪市阿倍野区で49年間（910回）続いた地域寄席・田辺寄席には、1974年の第1回より出演し、2023年3月18日で幕を下ろすまで出演を続けた。

地道に高座を務めていたが、50歳のころ、視野が欠けるなどの自覚があり、網膜色素変性症と診断され、その後、失明。盲導犬のユウゴとともに行動していたが、2026年7月にユウゴが勇退。

2015年6月11日、入門45年、62歳11カ月にして、NGK（大阪）で初独演会を開催。
史上最も遅咲きの花月初独演会。



開会・挨拶・講演

12:45 実行委員長・区長挨拶

13:00 講演 桂文太 氏

落語家「桂文太」中途失明を乗り越えて笑いを届けています
～落語の世界は男女平等だぞ！～

14:00 休憩

講演・舞台発表

ホール開場12:10

すみだ共生社会推進センター登録団体の舞台発表

14:15 シニアフラ・モキハナ [フラダンス]

14:30 朗読奉仕くさぶえ [朗読]

14:45 新日本婦人の会墨田支部 [コカリナ演奏]

15:00 自彊術同好会 [体操披露]

15:15 かなうたごえサークル [合唱]

15:30 <舞台セッティング>

15:35 琴望会 [大正琴演奏]



あしたの会

コスモスクッキングサロン

新日本婦人の会墨田支部

自彊術（じきょうじゅつ）同好会

墨田区更生保護女性会

すみだ女性センターさぼーたーず

すみだにほんごボランティア21

[活動報告]

[活動報告]

[絵手紙]

[自彊術普及会発行の解説資料]

[活動報告]

[塗り絵]

[活動報告]

展示発表

ロビー12:10～16:00